

# 家畜保健衛生所情報

令和3年12月13日

## 宮城県で豚熱が発生

宮城県において、国内で75例目の豚熱の発生が確認されました。発生状況は次のとおりです。

発生場所	発生日	飼養頭数
宮城県大河原町	令和3年12月12日	約9,700頭

### \*経緯

- 12月11日、当該農場より家畜保健衛生所に対し「複数豚でチアノーゼ等の異状が見られる」との通報
- 同日、現地調査を行い、家畜保健衛生所で遺伝子検査を実施したところ、豚熱陽性を確認。
- 国で精密検査を実施し、12月12日、豚熱の患畜であることが判明。



豚等を飼養している皆様におかれましては、発生地域からの導入を避けるなど、導入元のチェックをするとともに、再度、飼養衛生管理基準の遵守を徹底し、特に次の事項について注意していただきますよう、よろしくお願いいたします。

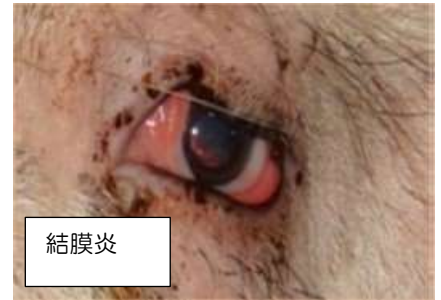
- (1) 消毒による人・車両等を介したウイルスの侵入防止
- (2) 食品残さの適正使用  
畜産物を含む飼料を与える場合は攪拌しながら90℃以上60分間以上またはこれと同等以上の効果のある方法で加熱処理し、処理温度等の計測を行い、その記録を保管してください。
- (3) 野生動物対策
  - ・ いのしし、ねずみ等の野生動物の侵入防止対策を徹底してください。
  - ・ 豚舎周囲の清掃、整理・整頓  
(特に飼料タンク下の残さによる野生動物誘引に注意)
- (4) 畜産関係者等の海外渡航の自粛
  - ・ 特に豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域への渡航は可能な限り自粛してください。

## 豚熱について

家畜伝染病予防法により、特定症状を呈している家畜を発見した場合は届出が義務付けられています。このような症状を含む異状がみられた場合は必ず家畜保健衛生所に届け出てください。

### ※ 特定症状

- 耳翼、下腹部または四肢等の紫斑
- 同一の畜房内において、以下の症状を示す豚がおおむね 1 週間程度で増加していること
  - ① 40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退
  - ②便秘、下痢
  - ③結膜炎(目ヤニ)
  - ④ 歩行困難、後躯麻痺、けいれん
  - ⑤削瘦、被毛粗剛、発育不良(ひね豚)
  - ⑥ 流死産等の異常産の発生
  - ⑦皮下出血、皮膚紅斑、天然孔からの出血、血便
- 同一の畜舎内において、概ね 1 週間程度に複数の豚が突然死すること



離乳豚を飼養する農場では特に感染リスクが高いです。  
さらなる飼養衛生管理の徹底をお願いします。

なお、豚熱についての最新情報は下記ホームページについてもご確認ください。

- ・ 農林水産省：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/>
- ・ 農研機構：[https://www.naro.affrc.go.jp/niah/swine\\_fever/index.html](https://www.naro.affrc.go.jp/niah/swine_fever/index.html)
- ・ 宮城県：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/boueki/csf-miyagi.html>

〈農林水産省 HP〉

〈農研機構 HP〉

〈宮城県 HP〉



\*\*\*\*\*

本情報に関するお問い合わせは

大阪府家畜保健衛生所

〒598-0048 泉佐野市りんくう往来北 1-59

TEL：072-458-1151 FAX：072-458-1152